



## 坂東市消防団が 内閣総理大臣から表彰

9月12日、坂東市消防団が内閣総理大臣から防災功労者として表彰を受けました。昨年の関東・東北豪雨における献身的な活動が認められたものです。

当日は、永塚消防団長が総理大臣官邸で開催された表彰式に出席し、出席者全員で記念撮影が行われました。



▲記念撮影の様子

# ばんどう まちづくり

坂東市長 吉原英一



## 平将門とまちづくり

### 『坂東市本将門記』

平将門公は、千年以上昔の平安時代中期、腐敗した貴族社会に対抗して、草深い東国 の地に理想郷をつくるようと立ち上がつたともいわれています。将門の乱はわずかの期間で鎮圧されましたが、その行動は武士の時代の先駆けともいわれ、後の世の人々を惹きつけてきました。日本各地にはたくさんの将門伝説が残されています。

将門公の本拠地と伝わる坂東市にも、國王神社や石井營所跡とされる島広山 延命院 の胴塚など、数多くの史跡があります。また、ベルフォー 前庭では将門騎馬像が市民

のみさんを見守っています。全国の市民ランナーが坂東路を駆け抜ける将門マラソンや武者行列が勇壮に練り歩く将門まつりも観光イベントとして定着しています。市ではこうした「平将門」という歴史的、文化的資源を活用したまちづくりを進めてきました。

「平将門の乱」は歴史の教科書に必ず出てくる事件ですが、詳しく知っている人は少ないのではないかと思います。市では一人でも多くの市民のみなさんに将門公と郷土の歴史を知つていただき、こうと読みやすい現代版の「将門記」を作成しました。12月25日まで郷土館ミューズで開催している企画展「坂東市本将門記」将門伝説と古代東国の争乱」で公開しています。(時を刻んで2005年後、国宝になるといいなあ)

初冬に吹く寒風は、1077年前の天慶2年12月、将門公が「新皇」と称して霸を唱え、天下にその武名を轟かせた史実を思い起させます。その後2か月後の翌年2月14日、岩井の地で壯絶な最期を遂げたと伝えられています。

今年は、将門公の名を全国に知らしめたNHK大河ドラマ「風と雲と虹と」の放送から40年になります。この機会に、郷土の英雄・将門公をより深く知つていただくとともに、市内の伝承地をめぐりながら故郷の歴史の息吹を感じてみるといがでしようか。

古の軍記物語といわれる『將門記』は、その写本が名古屋市の真福寺(大須観音)に残されていますが、漢文で記述され、誤字や脱字がありました。市では最新の研究成果をもとに『將門記』を増補修訂し、市内在住の3人の書家のかた